

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE SUMMER

## ルカ新聞

No.27  
2013.6.

2013.5.5 涸沢岳

柘ざ  
榴くろ

たとえ預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようと、たとえ山を動かすほどの完全な信仰を持ていようと、愛がなければ無に等しい。全財産を貧しい人々に使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければわたしに何の益もない。愛は忍耐強い。愛は情け深い。なたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてをしのびすべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。

「コリントの信徒への手紙1」：13章2節-7節

キリスト教では、この「愛」が信仰の中心になっています。仏教では愛は「愛着」という言葉に見られるようにあまり良い意味はありません。キリスト教では愛には二つの愛があります。「エロス」と「アガペー」です。エロスの愛とは通常、人々が感じるこのある愛であり、お互いの愛、愛着の愛、うれしくなるような、また、時には悲しく、寂しくなるようなことも起る「愛」です。アガペーの愛は、イエス様、神様からの愛に代表されます。まったく見返りのない、全人格をささげることのできる愛です。コリントの信徒へ向けたこの聖書の言葉は有名ですので知っている人もいるかと思いますが、そこそこ言われている愛はアガペーの愛です。おそらくこのアガペーという言葉は日本語に翻訳するときに、単に「愛」という漢字を当てた結果、このような二つの意味の愛が区別がつかなくなったのと思います。わたしには人間でも時にはこのアガペーの愛を実行したのではないかと思えるような体験談や実話を見たり聞いたりすることがあります。そんな時人間も捨てたものではないなとうれしくなります。





## 巻頭言

院長 宇津宮 隆史

いよいよ2013年8月8日－9日がやってきます。第31回日本受精着床学会総会・学術講演会です。別府ビーコンプラザで私が大会長として開催します。この原稿を書いている今まさに、学会の準備で一番忙しい思いをしている真っ最中です。奇しくも30年前に日本受精着床学会の第1回の設立集会在慶應義塾大学北里講堂で開催され、わたしも参加しました。この学会は日本を代表する生殖医療の大先輩方が、日本にも体外受精を中心とした生殖医療を世界に伍して推進するための学問の集会として設立したものです。また、今年がわたしが医師になって40年目、生殖医療を中心に開業して20年目、そしてキリスト教の洗礼を受けてクリスチャンになって25年目です。この2013年とは、偶然でしょうか、節目の年となりそうです。

さて、この40年間にわたしが担当してきた生殖医療に対しての考えを、今回の学会に投影したいと思っています。それは「生殖医療とは究極のところ、その医療で生まれてくる子どものためにある」ということです。もちろん、不妊で悩んでいる患者さんの手助けになるために医療を行っているわけですが、しかし、その医療で生まれてきた子どもたちが本当に「生まれてきてよかった」と思ってくれなければならないわけです。夫婦が良くても、生まれた子どもが不幸であってはなりません。そこを見極めて治療を行っていきたいと思っています。そしてその考えを患者ご夫婦にも考えていただきたいと思っています。今、話題の妊婦血液を用いた新しい出生前診断(NIPT)でも、たった一滴の妊婦血液で胎児がダウン症かどうか診断できる時代です。あと2－3年もすると妊娠中から胎児の情報がもっと大量に正確に入手でき、「この胎児の知能はこれくらいで、将来はこのような性格になり、どれくらいの地位を得られ、どのような病気をもち、何歳くらいで死ぬだろう」というようなことがわかるようになると思います。そのような時代がすぐそこに来ています。そのときわたしたちはどうするでしょう。もし「自分の希望に沿った胎児でなかったらどうしますか」と問いかけられるような時代がきます。また、早発閉経やターナー症候群の方たちのための「卵子バンク」も活動を始めました。



しかし、これはすぐに、卵子が採れにくい40歳前後の患者さんにも活動範囲を広げるでしょう。そして、それで生まれてきた子どもに、本当に安心・安全・幸福な将来を約束できるでしょうか。そのためには、その子どもに「物心つくときからその事実を伝える」ということが基本にあります。しかしこのプログラムでは「15歳になって子どもが知りたがったときには知らせる」となっています。つまり、それまでは子どもはその事実は知らないわけで、15歳になってもその事実を教えなければ子どもは知らないままなのです。そして、将来子どもが何かのきっかけでその事実を知ったとき、どう思うでしょうか。夫婦がこの医療を選択したとき、そこに子どもはいなかったのです。インフォームド・コンセント（正しい情報を得た上での合意）が当然な現在、最もその影響を受ける子どもはその場にはまだいません。最も重要なことは、その場にはいない子どもの権利を保障してやれるのは主治医と患者さん夫婦です。主治医と患者さん夫婦はその子どもに大きな責任を負っています。

わたしが理事長をしている児童養護施設別府平和園は大変です。わたしはこの2年間、平和園のすべてを知ろうとしてきました。やはりこのような福祉施設はやっとなんと自転車操業のような、不安定な経営を行わざるを得ず、その負担は保母さんたち、指導員たちの献身的な働きによってなんとか成り立っていることがわかりました。その現実、ちょっとでも予期せぬ出来事が起これば崩壊してしまうというような、しごくもろいものようです。もともとこのような施設は福祉活動に熱心な宗教者などがその使命感によって設立、運営してきたのですが、時代が変わってその形態は今の社会制度に組み込まれ、施設は法人化してしまい、職員も半分公務員のような待遇で、まったく以前とは形態も運営方法も変わってしまっています。しかしその精神、特に開設者の心意気は今でも伝えられ、つながれていかなければなりません。平和園はM.パウラス先生と加藤正登、シズ子先生の精神です。わたしはパウラス先生と加藤正登先生にはお会いしたことはありませんが、シズ子先生がわたしに「平和園を見守ってくださいね」と言われたことを思い出します。今、平和園は、この社会での平和園の役割と現実を考え、子どもたちの将来を保障できるように変化しなければならない時期を迎えているように思えます。そのような活動に少しでも力になればと思っております。











# 研究室だより

## 胚のタイムラプス撮影装置を導入しました

新患教室や体外受精教室で、院長が患者さんにお話しするときに紹介しているビデオをご存知ですか？受精の瞬間や、受精卵の発育を超早送りで見ることができます。その動画は、このような装置を用いて撮影されています。



Vitrolife社 Primo vision

この小さい箱のような装置は顕微鏡です。装置の大きさは、20×8×11cm(縦×横×高さ)と、顕微鏡としてはかなりコンパクトな作りとなっています。この装置に培養ディッシュを図のように乗せ、温度、ガス濃度、湿度をコントロールした培養器(インキュベータ)にそのまま設置し、通常通りの培養を行います。



2階廊下の窓から覗くとこのように見えます。インキュベータ内に、この小型顕微鏡を設置していますので、外からは装置の存在が分かりにくいのですが、インキュベータ内の装置はケーブルを通して制御システムのPCに繋がっています。

卵子や受精卵の写真撮影は一定の時間間隔(10分)で撮影し、例えば6日間の培養中に1000枚以上の写真を撮り続けます。その撮り貯めた膨大な写真を、PCのソフトを用い後で動画に編集します。



これまでは、インキュベータからディッシュを大気中に取り出し、観察・形態評価し、またインキュベータに戻していました。インキュベータを開閉することで庫内のガス濃度や温度が変動し、さらに観察のため光をあてざるをえませんでした。

このタイムラプスシステムを用いることにより、卵子や受精卵にできるだけ光をあてずにすみ、かつ一定の環境で発育させることが可能となりました。撮影中の写真は、モニターでリアルタイムに表示されるため、いつでも観察が可能です。

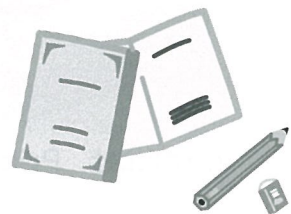
この装置を用いることで、これまで分からなかった連続的な発育の様子がつぶさに確認できるようになり、より詳しく受精卵の質を評価できるようになると期待されます。



# 看護部だより



看護部は毎月一回個人のスキルアップを目標に勉強会を行っています。今回は、「風疹の発生及び予防」についての勉強会を開きました。



## <先天性風疹症候群とは>

妊娠した女性が、風疹に対する抗体をもっていないまま初感染で風疹ウイルスに罹患して、しかも妊娠初期の胎児の器管形成が体内で行われているときに、風疹ウイルスによって胎児に先天異常をもたらす疾患です。胎児の先天異常としては、先天性白内障、緑内障、先天性疾患、感音性難聴などがあげられます。

## <当院では…>

初診時に風疹抗体価の採血を行っています。

抗体価 16 以下の場合医師より説明後、他院にてワクチン接種をすすめています。

また抗体価 512 以上の場合再度 2 週間後採血を行い、抗体価を確認しています。

再検査でも高値の場合は 2 ヶ月間避妊して治療を再開するよう勧めます。

また第 2 子希望で初診の場合は母子手帳で抗体価を確認してもらいます。

## <予防法>

ワクチン接種が一番有効的です。

また風疹ウイルスに感染した人の飛沫により人にうつるので、日頃から手洗いやうがい習慣をつけて予防しましょう。





# 受付より

紫陽花のきれいな季節になりました。

さて、2012.4.1～2013.3.31まで当院を通して不妊治療費助成金が交付された金額が集計されましたので受付より報告いたします。



## 2012年度特定不妊治療費助成金

	人数	申請回数	助成金額
大分県	161	251	38,110,200
大分市	198	321	61,026,300
他県	4	8	1,200,000
県と市両方	44	52	5,215,200
大分市以外	7	9	532,800
市町村のみ	8	9	983,800
合計	422	650	107,068,300

## ～不妊治療費助成事業医療実施証明書について～

### 助成対象者

- ・大分市→不妊治療開始日の1年以上前から大分市内に居住している方
- ・大分県→大分市外に居住している方

### 申請回数・助成金額

- ・特定不妊治療について申請を行う**初年度(1年度目)**限り、年度内3回まで申請可能です。  
☆大分市 → 1回・2回目 → 各20万円、  
3回目 → 15万円  
☆大分県 → 1～3回目 → 各15万円
- ・前年度、申請された方は、年度内2回までです。  
1回の上限 → 大分市は20万円、大分県は15万円です。

### 助成対象治療

- ・特定不妊治療（体外受精、顕微授精）
- ・人工授精

### 申請期間

「大分市」の申請をされる方は、治療が終了した日から60日以内の申請が厳守です！

(特定不妊治療以外の治療の場合は、年度内最後の施術日から60日以内の申請)

※平成25年度より凍結胚移植の申請をする大分県の方…  
15万円→7万5千円に減額になりました。

申請可能な方は、出来るだけ早めに受付まで持って来て下さい。  
皆様、ご協力をよろしくお願い致します！

# 心理相談室より

こんなことでカウンセリングを受けてもいいの？

なんて思わずに、お気軽にお話にきてみてください。

ちょっとしたことが気になる、何だかいらいらするなど日常のストレスから、他所ではなかなか話せない、治療や夫婦の間のこと。その他どんなことでも、ここでは大丈夫。

予約システムからの予約だけでなく、その日空いていれば急なご相談も受け付けています。スタッフにお尋ねください。

料金：一回一時間を目安に1380円(体外受精の方は無料)

## 妊娠報告件数

(2012.12.1～2013.4.30)

体外受精、顕微授精等

110件

※

その他(体外受精以外)

70件

計 180件

## 編集後記

2013年8月8日～9日に第31回日本受精着床学会が別府市ビーコンプラザで開催されます。

大会長となる院長先生のもとスタッフ一同一丸となり準備を頑張っています。

今回は生殖補助医療の分野を代表する著名な先生方のご講演と、大分の自然や温泉で参加者の方々が満足していただけることと思います。  
(新聞係り)





# 2013年 前期を振り返って

01.07	新年会 (セント・ルカ多目的ホール)	04.13	第71回 新患教室 参加者67名 参加(越名、下川、後藤香、戸高、坂本、足立直、斉高、篠田、稗田)
01.07	新職員 後藤厚子(研究室・培養室)	04.13	セント・ルカ産婦人科 & メディテック・ルカ合同お花見(大分・七瀬川)
01.08	第166回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	04.16	第13回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、後藤裕、上野、河邊、院長)
01.12	第69回 新患教室 参加者73名 参加(越名、後藤香、坂本、手島、足立直、篠田)	04.18	第11回 日本臨床医学リスクマネジメント学会(東京) 参加(院長) 発表:「生殖補助医療における多胎妊娠予防に対する取り組み」(城戸京子) 「不妊治療施設におけるインシデントレポート～発生状況と対策についての分析～」(手島しおり)
01.13	第188回 体外受精教室 参加者64名 参加(足立小、佐藤、北田、岡田、赤嶺、篠田)	04.19	第37回 大分市医師会産婦人科～内分・不妊・代謝～懇話会(大分) 参加(山路、平松、工藤、大城、青木、西郡、足立小、越名、下川、佐藤、長木、大津、戸高、坂本、北田、岡田、亀井、松元、斉高、赤嶺、関、越光、後藤裕、稗田、上野、河邊、院長)
01.15	第17回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、 近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、 指山美千代(セント・ルカ産婦人科 看護部顧問)、 野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順)	04.20	第9回 九州産婦人科内視鏡手術研究会(福岡) 参加(岡田、越光、河邊) 発表:「当院の子宮鏡手術症例の検討」(院長)
01.16	日本放送協会(NHK)大分放送局より記者1名取材の為に来院	04.21	第70回 九州・沖縄生殖医学会(福岡) 参加(上野) 発表:「抗がん剤(シクロフォスファミド:CPA)投与によるマウス卵巣機能への影響」(小池恵)
01.18	第34回 日本エンドメトリオシス学会(栃木) 参加(手島、越光) 発表:「子宮腺筋症核出術を行った患者の検討」(院長)	04.21	日本卵子学会 生殖補助医療管理胚培養士更新審査(東京) (大津)
01.18	第22回 大分婦人科悪性腫瘍研究会(大分) 参加(河邊)	04.26	第14回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)
01.19	第9回 第8期オリーブの会 参加者6名	04.27	第191回 体外受精教室 参加者65名 参加(足立小、下川、佐藤、戸高、岡田、松土、関、稗田)
01.21	第6回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)	04.27	第12回 第8期オリーブの会 参加者8名
01.25	第213回 大分市医師会産婦人科臨床検討会(大分) 参加(河邊、院長)	04.27	第15回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)
01.26	JISART 研究倫理申請(2012-05号)ヒアリング(大阪) 参加(院長)	04.30	第16回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)
01.28	第7回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、後藤裕、上野、河邊、院長)	05.02	日本放送協会(NHK)しんけんワイド大分「出生前診断についてどう向き合うか」放送
01.31	第4回 JISART フォローアップ部会予後調査部門会(東京) 参加(上野)	05.07	第170回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院
01.31	第6回 JISART フォローアップ部会(東京) 参加(上野)	05.07	第17回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)
02.01	第8回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)	05.08	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」秋号(Vol.19)取材 第18回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)
02.01	第7回 大分女性医学フォーラム(大分) 参加(河邊、院長)	05.10	第65回 日本産科婦人科学会(北海道) 参加(院長)
02.02	第16回 胎児遺伝子診断研究会(東京) 参加(城戸、大津) 発表:「不妊患者の出生前診断についての意識調査」(院長)	05.10	IFFS International Meeting 2015「第2回組織委員会」(北海道) 参加(院長)
02.02	第5回 JISART 非配偶者間生殖医療に関するカウンセラー実務研修(大阪) 講師:「JISART フォローアップ部会について」(上野桂子) 「被提供者の子どもへの告知についてのカウンセリング演習」(上野桂子)	05.11	第5回 日本受精着床学会倫理委員会(北海道) 参加(院長)
02.03	第4回 JISART フォローアップ部会相談部門会(大阪) 参加(上野)	05.11	第6回 JISART 非配偶者間生殖医療に関するカウンセラー実務研修(大阪) 講師(上野)
02.05	第9回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、大津、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)	05.18	第53回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者61名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護部長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生)
02.09	第52回 「赤ちゃん～今ならきつと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者80名 講師(越名(受付)、後藤裕(看護部長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生) 参加(工藤、城戸、坂本、足立直、斉高)	05.21	第19回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)
02.10	第2回 JISART 児の長期予後調査検討会(東京) 参加(足立小)	05.25	第54回 日本卵子学会(東京) 参加(院長)
02.12	第167回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	05.25	発表:「抗がん剤(シクロフォスファミド)投与によるマウス卵巣機能への影響」(小池恵)
02.15	第10回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、後藤裕、上野、河邊、院長)	05.26	第13回 第8期オリーブの会 第2回 JISART 事務教育委員会(東京) 参加(越名)
02.18	IVF 詠田クリニック院内研修(福岡) 講演:「生殖医療われわれの取り組み」(院長)	06.01	第192回 体外受精教室
02.23	第189回 体外受精教室 参加者52名 参加(足立小、小池、松土、二宮、関)	06.08	第5回 JISART 心理教育セミナー(宮城) 参加(上野)
02.23	第10回 第8期オリーブの会 参加者4名	06.08	第6回 JISART 受付教育セミナー(宮城) 参加(青木、越名)
02.23	日本放送協会(NHK)大分放送局より、オリーブの会取材の為に来院	06.08	第6回 JISART ラボ教育セミナー(宮城) 参加(熊迫、大津)
02.25	第11回 受着会議 参加(山路、平松、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、関、篠田、後藤裕、河邊、院長)	06.08	第10回 JISART 看護教育セミナー(宮城) 参加(篠田、後藤裕)
02.26	新 Server 入れ替え OS: Microsoft Windows Server 2008 R2 DB: Oracle11g	06.08	第43回 JISART 理事会(宮城) 参加(院長)
02.28	JOYの会(大分) 参加(河邊)	06.09	第11回 JISART シンポジウム(宮城) 参加(青木、熊迫、大津、篠田、後藤裕、上野) 「JISART 児の長期予後調査のお話」(座長: 院長) 講演:「ようこそ大分へ(第31回日本受精着床学会の見所)」(院長) 部門間ディスカッション「当院の新人教育」(越名久美)
03.01	新職員 河野愛、戸高里美(看護部)	06.15	第72回 新患教室
03.02	日本生殖医療心理カウンセリング学会 生殖心理カウンセラー・生殖医療相談士継続研修(宮城) 参加(篠田、上野)	06.21	日本受精着床学会 平成25年度 第1回常務理事会(東京) 参加(院長)
03.02	日本生殖医療心理カウンセリング学会役員会(宮城) 参加(上野、院長)	06.22	第53回 ガーネットサークル
03.03	第10回 日本生殖医療心理カウンセリング学会学術集会(宮城) 教育セミナー「生殖医療心理カウンセリングの現状と将来」(座長: 院長) 講演:「パネルディスカッション「チーム医療の役割」-生命の原点をみつめなおす- 心理士の立場から」(上野桂子) 発表:「妊娠に至らず「治療終了した元患者を囲む会」を開催して」(松元恵利子) 「治療体験者を招いての患者会(オープングループ)の取り組みと課題」(篠田多加子)	06.29	第25回 大分内視鏡外科研究会(大分)
03.04	第110回 大分県産科産科研究会(大分) 参加(山路、平松、大城、青木、足立小、小池、佐藤、後藤香、指山、萬、坂本、手島、岡田、亀井、松元、二宮、赤嶺、関、越光、後藤裕、上野、院長) 発表:「当院における多胎妊娠予防に対する取り組み」(城戸京子) 「治療体験者を招いての患者会(オープングループ)の取り組みと課題」(篠田多加子)	06.30	平成25年度 大分産科婦人科学会・大分県産婦人科医会総会(大分)
03.08	株式会社バズラボ フリーマガジン「ジネコ」夏号(Vol.18)取材	著書	《院 長》 「ヒト体外受精における受精卵の質評価のため呼吸量測定を行う臨床的意義」 『日本移植学雑誌』第35巻1号(日本移植研究会) 「不妊患者の出生前診断についての意識調査」『産婦人科の実践』(金原出版株式会社) (執筆中)
03.09	日本生殖再生医学会役員会(東京) 参加(院長)	《院長/上野桂子》 「Ⅱ. 一般的不妊診療の実践 1. ルチンテストの再考」 「Ⅱ. 一般的不妊診療の実践 15. 機能性不妊」『今日の不妊診療 第2版』(医歯薬出版株式会社) (執筆中)	
03.10	日本生殖再生医学会第8回学術集会(東京) 参加(院長) 発表:「抗がん剤(シクロフォスファミド)投与によるマウス受精および胚発育能に及ぼす影響」(小池恵) 「ART後の産産の絨毛染色体検査結果が正常核型の絨毛と対応精子のメチル化解析」(佐藤昌子)	《熊迫陽子》 「非配偶者間生殖医療(提供精子人工授精: AID)の実態と今後の課題 - AID で生まれた方々の意識調査をもとにして -」 日本受精着床学会雑誌 30(1): 146-159, 2013	
03.12	第168回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院	《熊迫陽子》 「Respiratory Activity of Single Blastocysts Measured by Scanning Electrochemical Microscopy: the Relationship between Pre-freezing and Post-warming」 J.Mamm.Ova Res. 30(1): 30-35, 2013	
03.12	大分産婦人科 update(大分) 参加(河邊、院長)	翻訳	《院 長》 「不妊症(原題: Infertility)」『障害の百科事典(原書: Encyclopedia of Disability)』(丸善出版株式会社)
03.16	第52回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名	論文	《院 長》 「非配偶者間生殖医療(提供精子人工授精: AID)の実態と今後の課題 - AID で生まれた方々の意識調査をもとにして -」 日本受精着床学会雑誌 30(1): 146-159, 2013
03.16	第42回 JISART 理事会(東京) 参加(院長)	《熊迫陽子》 「Respiratory Activity of Single Blastocysts Measured by Scanning Electrochemical Microscopy: the Relationship between Pre-freezing and Post-warming」 J.Mamm.Ova Res. 30(1): 30-35, 2013	
03.20	第70回 新患教室 参加者85名 参加(油野、越名、佐藤、坂本、斉高、足立直、越光)		
03.22	日本受精着床学会 平成24年度 第3回 常務理事会(東京) 参加(院長)		
03.27	日本放送協会(NHK)大分放送局より取材の為に来院		
03.27	大分放送(OBS)より取材の為に来院		
03.28	大分放送(OBS) OBS イブニングニュース「不妊治療助成金制度について」放送		
03.28	ジェナさんと JISART フォローアップ委員会との交流会(大阪) 参加(上野)		
03.30	第190回 体外受精教室 参加者60名 参加(足立小、熊迫、大津、戸高、岡田、松土、関)		
03.30	第11回 第8期オリーブの会 参加者5名		
03.30	日本放送協会(NHK)大分放送局より、オリーブの会取材の為に来院		
04.01	新職員 下川梢樹乃(研究室・培養室)、稗田真由美(心理専門相談室)		
04.01	日本生殖医療心理カウンセリング学会 生殖医療相談士認定(看護部: 手島しおり)		
04.05	日本放送協会(NHK)大分放送局より取材の為に来院		
04.09	第169回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院		
04.09	第18回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、 緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、 近藤邦子先生(別府平和園 保育士)、 指山美千代(セント・ルカ産婦人科 看護部顧問)、 野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (五十音順)		
04.10	第12回 受着会議 参加(山路、工藤、足立小、越名、熊迫、大津、篠田、越光、上野、院長)		